

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 愛知県一宮市立末広小学校
種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒 491 - 0918

愛知県一宮市末広2丁目20番1

E-mail : suehir-e@city.ichinomiya.aichi.jp

Website : http://www.school.city.ichinomiya.aichi.jp/suehir-e/

児童生徒数：男子 321 名 女子 249 名 合計 570 名

児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

平成25年度 一宮市立末広小学校 ESDの取り組み

1 環境教育

○校外活動

- ・社会見学〔ゴミ処理場・浄水場〕(4年)
- ・電気の科学館見学(5年)

身近な環境やエネルギーについて、見学や体験活動を通して理解を深めた。

○卒業式に向けての一人一鉢栽培運動(各学年)

児童の一人ひとりが、卒業式に向けて自分が責任を持って植物を育てることで、植物を慈しむ気持ちと、卒業生への感謝の気持ちを持つことができた。

○理科・飼育栽培(5年)

メダカなどの動物や植物を栽培する活動を通して、環境への関心を高めた。

○社会・水の大切さを知ろう(5年)

水資源の重要性について、環境問題に関連付けながら学習することができた。

○グリーンカーテン(4年)

4年生の理科と関連付けながら、エネルギーを節約しながら夏の暑さをしのぐ知恵について考えることができた。

○異学年交流

「末広ピック(エコは末広を救う・環境に優しい遊びを考えて)」
異学年との交流を、環境に負荷をかけない工夫として、ゴミをなるべく出さないような遊びを考えて、楽しく交流を行うことができた。

2 地域の学習

○校外活動

- ・まちたんけん(3年)
- ・スーパーマーケット訪問(3年)
- ・木曾三川公園への校外学習〔治水の歴史〕(4年)

見学活動を通して、自分の住む地域の理解を深め、産業の特徴や先人の知恵を知ることができた。

○親子教室(全学年)

親子でおもちゃを作ったり、一緒に遊んだりして、家族の絆を深める活動を行った。

○親子ぴかぴか大作戦〔学校・保護者・地域の合同清掃活動〕(全学年)

児童と保護者・地域の方とで、自分たちの使う公園など、地域の各場所を清掃し、公共心を育てた。

3 伝統文化学習

○いろはに邦楽〔三味線や琴の伝統芸能体験〕(6年)

講師を招き、日本の伝統芸能を体験することを通して、古くから続く伝統文化への理解を深めた。

- 社会・地域の伝統工業（4年）
愛知県の伝統工業を学ぶことで、地場産業や伝統工業など、地域の特色を知ることができた。

4 福祉ボランティア学習

- 特別支援学級との交流活動（各学年）
学校行事で、分け隔てなく同学年・異学年の児童と交流し、お互いを尊重し、理解に務めようとする態度を身につけることができた。
- 福祉実践教室
 - ・ブラインドウォーク（4年）
 - ・車いす体験（5年）ブラインドウォークや車いす体験を通して、障害者の立場になってバリアフリーについて考えることができた。
- 老人福祉施設訪問（6年）
お年寄りと触れ合うことで、高齢者を大切に思う気持ちを育て、介護についての理解を深めることができた。
- エコキャップ運動（児童会）
児童会が中心となって、発展途上国の経済的に苦しんでいる人々の助けになるように、ペットボトルのキャップを集めてワクチンを寄付する活動を行った。
- 「末広ちょボラ運動」の展開
朝の始業前に、有志の児童と職員があいさつ運動や清掃活動に取り組み、奉仕の気持ちを育てることができた。

（2）活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（
 社ボランティア体験 各学年から回収されたキャップ ）